

翻刻 前田育徳会尊経閣文庫蔵『論語講義筆記』第一 巻（序・学而・為政）

古田，龍啓
九州大学大学院：博士後期課程

<https://doi.org/10.15017/4769774>

出版情報：文献探究. 59, pp. 54-75, 2021-03-31. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：



翻刻 前田育徳会尊経閣文庫蔵『論語講義筆記』第一卷（序・学而・為政）

古田 龍 啓

はじめに

前田育徳会尊経閣文庫蔵『論語講義筆記』（全十巻・五冊）は、五山僧・希頊周顥（生没年不詳）の『論語』の講義を基に作製された抄物資料である。その書誌的事項や成立事情については、柳田征司（一九九二）によつて紹介されており、「寛正六載^{乙酉}九月十有四日顥書記於三条六角弘願寺／講了」という奥書から、京都・三条の弘願寺において行われた寛正六年（一四六五）の講義に基づくこと、転写本だが同年に近い時期に書写されたこととみなせることが明らかにされている。

言語的特徴としては、京都での講義の聞書であるにもかかわらず、東国語の指標として用いられるコピュラの「ダ」が、「ヂヤ」とともに多用されていることが注目されており、柳田征司（二〇一三）は「論語抄の中で言語研究資料として最も重要なもの」「口語資料として第一級」と、本資料の日本語史資料としての価値を高く評価している。

しかし、その本文は半葉分のモノクロ画像が柳田征司（一九九八）に掲載されたり、部分的に引用されたりするのみで、抄全体の影印や翻刻は存在しない。また、柳田征司（一九九二）を始めとする氏の一連の論考を除く研究論文は、当該資料の接続詞サレドモ・アレドモの

使用状況と文体との関わりを論じた松尾弘徳（二〇〇四）に限られ、強調される重要度の高さに比して、利用は活発ではない。

そこで本稿は、当該資料の利用を促進するための一助として、尊経閣文庫から入手したモノクロ複写を基に、第一冊の冒頭である第一巻（序・学而・為政）の本文の翻刻を行う。原本の調査もかつて行つてはいるが、新型コロナウイルスの影響のため、翻刻作製にあたり、原本を参照することは叶わなかった。朱筆もみられず、画像も鮮明であるため、複写物に基づくことに大きな支障はないと考えるが、第二巻以降の翻刻も念頭に置き、機を見て原本での再確認を行いたい。

翻字凡例

- ・ 第一冊は巻首を欠くため、現存する「辛勞メ」に始まる丁を1丁目として丁数を付し、19丁裏までを翻刻対象とした。
- ・ 冒頭に行数を掲げ、丁数・表裏の替わり目を丸括弧で括り示した。
- ・ 虫損で不明瞭な文字は「」と点線で囲んだ。文字があることが推測されるが判読できない場合は□で示した。また、あるべき文字が空白で処理されたと思われる部分については、空白部に、「（一字空き）」などと傍注を付した。文字の補入は「○^子」（8ウ1）のよ

- ・ うに示した。
- ・ 句読点や中点を私に加え、合字は「メ」「ㄣ」を用いた。
- ・ 仮名遣いや濁点の使用は底本に従ったが、文字の大小は再現しなかった。
- ・ 難読字は□で囲み、右に？を付した。
- ・ 漢字の字体については現行のものに改めることを基本とした。ただし「證」「絲」といった元来、別の字義を有したもののなど、一部は区別した。また「蠶」(12ウ5)は作字し示した。
- ・ 「真ケ」(1オ7)など、「個」もしくは「箇」とみられる「ケ」の字は、「ケ」⁽⁸⁾と記した。

【翻刻】

- 1 (1オ) 辛苦メ論シ定タソト云心ニ、命ノ上字ヲ上ニ置ソ。タトヘハ大評定ニ^定タ
- 2 ト云ヘハ、人力是非ヲエ云ヌ也。ソノコトク也。先儒ノ定メテ置タホトニ、後
- 3 人ハエナヲスマイナリ。 ○序ハ緒也、廊也。緒ヲヒケハ絲ノ始末ガア
- 4 ガルコトク、廊テ本ノ始末カ心得也。廊ノ時ハ、朝廷ヘ紫震殿ヘマイルニハ、
- 5 東序西序ノ廊ヲマイライデハカナハヌガコトクニ、序カラキカイテハ、此
- 6 書ハ難心得也。可芮叔ガ書スル序也。伝粉郎トユハレシ者也。アツイ物ヲ

- 7 クハセテ、汗ヲタラサレタレトモ、真ケ⁽⁸⁾白イ故ニ真ケ⁽⁸⁾白カリケルト被仰
- 8 也。○ 刑畀ガ疏ニ、此序ハ十二段ニ分ルナリ。 △叙曰―命吾之ヲコリ
- 9 テ以来、読タ人タチヲ云也。序モ叙モ同。サレトモ序ハ総ダ、イ念比ニ云ハ
- 10 叙也。先儒ノ名人劉^{シヤウ}向カ云ト、證拠ニアグル也。 中壘―ハ北方ノ
- 11 官也。四人ノ官ノ一ツ也。古イ^{カシカヘテ}ヲ校 申スハ、校尉^{カウイ}ノ官也。劉ハ氏、名ハ向ナリ。
- 12 齊ニモアルサ。魯ノ国ニ有ハ二十篇也。今ノ此本カ二十篇ナリ。万代
- 13 不朽之善言ナリ。諸ノ置字アレハ、吟カヨク下ル。唐人可知之也。コチハ、エシ
- 14 ラヌ事也。朱晦庵ハ言フ、孫弟子トモカ書^之□云。サテソレニア^{タツテ}、
- 1 (1ウ) 孔子ノ弟子記之ト云也。○劉向ヨリ前ノ將軍^{キン}及子^子、^賢也。
- 2 子ニ黄金百鎰ヲ送ランヨリハ不如教五経ト云イシ人ナリ。等ハ多クヲ
- 3 含ム也。如此人タチガ伝^レ之タト劉尚ノユハレシナリ。上ハシヤウ、下ハキヤウト
- 4 向ノ字ヲハ心得ルナリ。サレハ向ト読ムヘシ。サレトモ日本ニアヤマツテシヤウト
- 5 読ソ。誤ヲ以テ誤ニツク也。シヤウトヨムヘシ。 齊―齊論ノ起

6 ト其ヲ讀ム人ノヲコリ也。齊論ハ二篇マス也。句ハクウトヨミツケ也。章
 7 句ハ分段也。頗ハ多ハノ事也。齊論ハ言句モ多イナリ。王氏之卿ハ貴
 8 シ。「而」云ナリ。非名也。生モソエ字也。庸ハ氏ナリ。昌一ヲツタル人ナリ。中一
 9 ノ官ノ王吉皆以教之也。齊モ魯モ本ハ同シモノナリ。魯カラ来
 10 フ
 11 ト齊カラ来テ伏生ニマナフ処デ有増減也。○故ニ一結前生後之句也。故ハ結上字也。○魯一齊魯ノ外ニ、亦古文ノ論語
 12 出来ル也。孔子ノ処カ、恭王ノ処ニ隣ル也。地カホシサニ孔子ノ廟ノ地ヲコ
 13 ホチスヘテ、我宮ヲ造ル也。此時、十三經皆出ル也。合璧ノ中カラホリ出
 14 ス也。家語序ニ、秦始皇ノ時ニ、令囿如市一定テ五經六籍ハヤ
 1 (2オ) カレントデ、コウシジヤウト云モノガ合璧ニ収メシ。ソ
 レヲ恭王ノホリ出ス也。
 2 八音ガ壁中ニナルホトニ、恭王ハナコホシソトテ、屋作ヲヤメシ也。○齊論
 3 有問王・知道。魯ノ命吾ニハ無之。此二篇力多イ也。古論トハ古文
 4 命吾也。ソレニモ問王・知道ノ篇ハナイ也。分堯曰—今マノニハ、子張
 5 問ヲ堯曰ノ中シテ置タナリ。子張ト云事、二処ニ有也。魯論ニチ

カウ
 6 タ也。篇ノ次モ齊命・魯命・古文命吾、皆異ナリ。伏生ガ口伝カラ
 7 異ニナル也。○安昌—魯ノヲモ本トシ講シテ、齊ノヲモ云イマ
 8 スル也。
 9 二ツヲ一ツニ講スル。名之為張侯論也。カウメ四部デキタ。為可貴也。
 10 漢一代力貴之也。氏苞咸ト云モノアリ。平叔ガ家ニ咸ノ字ツイタ者
 11 アリ。故ニユウ氏ト云也。○古—古論ヲハ博士ノ孔安國一人作
 12 ル也。
 13 訓説ハ注解ト同シキ也。是ヲハ人ガツタヘテモ、ヨマヌナリ。不
 14 伝ト云処マテ、
 15 ステ、ヲケ也。至順帝—南郡太守馬融ハ、古文論ヲハ不注也。章
 16 句出ノ下エ可心得也。馬融トハ、苞氏・周氏ニモ亦ナリ。○漢末—
 17 鄭玄—齊論古文論也。何平叔ハ魏ノ者ナレハ、魏カラノ近古也。
 18 (2ウ) 群トヨメ。故ノモト為司空也。魏ニ皆ナリ。義説モ□ト
 19 云マテナリ。皆別々
 20 ニ文ヲ変シテ云ナリ。○近故—前世安昌侯張禹ヨリ前ノ
 21 文段ノ異同ナリ。中間—苞氏・周氏・馬—ナントソ。至今ハ言
 22 魏也。注者七百餘家也。七百餘人カ皆別々ニ文段ヲハミヌ也。
 23 後告
 24 ハ善惡。○今—七百餘家ノ諸也。何平叔ガ今マ也。不安不安流也。
 25 ワルク見タヲハナリ多ク何平叔ガ為ニ改メ易シ也。名曰論語集解

7 也。是共ニ五部デクルナリ。○光禄—今ノ名人タチノ見テ、
 8 同心セラレタト申シアルナリ。光禄ハ官ノ名、闕内—ニ封セラ
 ル。
 9 臣—前ノ人タチヲ含ムホトニ、等ト云。侖吾ノ字ハ序ニアレハ、
 家
 10 ノ本ニハケツル也。何晏ヲモ家ノ本ニハケツル。序ニアレハナリ。
 学而ノ二
 11 字ヲトツテ為「篇名」也。毛詩モ初肇ノ二字為「篇名」。是文ノ注也。
 12 ○学而 王侃云、一番ニ学而ヲ置ハ、ウマレナガラノ聖人コソア
 レ、賢人ナン
 13 ドハ学ハイデハ物ヲハエシラヌ故ニ、学而ヲ一番ニ置ナリ。玉不
 琢無光
 14 謂ソ。○人ハ万物之靈長ト云ハ、学問シタルヲ云也。畜生ト人ト
 ハ
 1 (3オ) 同シモノナレトモ、カワル処ハ学問スル処ハカリソ。サ
 ルホトニ、人不通古今「馬」
 2 牛而綿裾スト、勸学文ニモ書ソ。第八次第ノ心也。○子曰—子ハ
 師
 3 ト通スル也。学而—孔子ノ語也。三千人ノ弟子ニ対シテ被仰ハ、
 学而—
 4 日新ニツトムルハ、時ニナラウ也。重々ノ悦ニハヲモハヌカ、ヨ
 ロコバシカラシモノヲ也。
 5 サソ悦デソウト云心ヲ弟子カユハン也。乎トハ問フ心。ウラデ答
 ヘサセン為ニ、
 6 乎ト云ナリ。 学トハ、白虎通ニ学ハ悟也、覺也。シラヌ事ヲ聞

7 テサト
 ル也。而ハ連続シテ不棄而ナラヘノ心ニ而ノ字ヲ置也。 時有三
 時
 8 也。身中・年中・日中ノ三時也。身中・年中ノ学ヲ日々ニ可学ノ
 日中ノ
 9 時也。此学而ハ日中為先。則身ト年トハツイテアガル也。○習ハ
 羽日也。
 10 鳥ノ飛ントスルヲ学ブガコトシ。如此新注ニスルナリ。燕モサ
 テ飛
 11 テ見テエトハネハ、旧処エ飛帰テ羽翼成テ後二万里ヲ飛也。人
 12 ノ学聞モ亦如此也。如鳥雛学飛欲離巢ト、習字ヲハ朱晦庵注
 13 スル也。疏ニ悦ハ重也。カサネ—悦ハシイ心ナリ。当座チャツ
 14 ト学タニ
 ウレシイニ、況ヤワスレイテアランハ、カサネ—ウレシイ也。
 ○有朋—
 1 (3ウ) 同学ノ朋ナリ。トゴロコウデ独アランヨリモ、タシカ
 ラン。面白イ人ニ参
 2 リヤウハ、学問ノ恩ナリ。朋ノトモハ、ウトイ也。友ハ、兄弟・
 法兄ナントノ友ハ、
 3 友也。ウトイ朋タニ染イ、況友ヲヤ。朋ヲアゲテ友ヲ下ニ含ム也。
 ○
 4 遠方—遠方ノ朋タニ来ル。況ヤ近処ヲヤ也。殊ニ遠方マデ師ノ
 5 徳ノキコエタ事コソウレシイヨソ。亦ハ重也。朋ノ来ルハウレ
 シイニ、コト
 6 サラ遠方ノハ重々也。前ニハ悦ト云、コ、ニハ樂ト云ハ有「深意」。

7 悦喜
 申タトハ心中ニ悦喜スル也。上ニハアラハレヌ也。樂ト胸中ニモ
 上ニモ
 8 樂シイ也。サテ書之カユル也。ゲニモ雪案ナントテ心中ニ悦フハ、
 独ノ田地
 9 マデ也。朋ニ逢テハ真ケ可樂也。独学無友則孤陋ト少聞ト樂
 記ニモ云ナリ。人ノ師ニナツテ人ニヲシエンニ、ムカイノ学者カ
 理ヲエシ
 10 ラストモ、師カラハ不可慍也。君子ハ有徳ノ号ナリ。亦ハ重也。
 我カ学文
 11 シテヲボエタヲダモ可貴。結句理ヲ心得ルハ、重々ノ君子也。シ
 ヤヅト
 12 云物ニ評スルニ ○学而―在我―学ノハシメナリ。△朋―学ノ中
 也。タカイニ聯句ヲシヤイ、人ニ能ヲ語ハ学ノ中也。○人―徳
 感
 13 (4オ)タ学ノ終也。一生涯ハ三段ニ有ル也。此章ハカリデタラ
 ネハ、ノ_{〔六〕}□。
 14 有子曰―ヲ云ハ止啼黄葉也。△趙晋ハ論語半部ヲ以テ収_三天
 下_一也。太宗夜半行幸アリシ也。趙晋ハイカメシイ者カナ。全部
 デタニモ
 4 エヲサメヌニ、半部デヲサムルハ也。日本ノ儒ハ云、ソレモ鈍也。
 学而一章
 5 ヲ用得テ、天下ハ可収ト評スル也。○臣宋政以_三半部論語_一 晩唐
 6 詩如_三二乗声聞_一、四六ニ書也。又ハ人不知―他人カ我ヲシラスメ
 7 悪クユハンヲハ、ハラタツマイ。学久セヌカラ也。学文スルナラ

ハ、人ハイヤシモ
 8 マイ物ヲト、我身ヲセメン也。嘖ルマイナリ。此義モ可也。在_レ
 疏。○注ニ業
 9 ハナラウワザ也。憚モ悦也。慍―タレカ曰クトモナイハ、何平叔
 カ注也。
 10 有子曰―第二ニハ、イカメシイ者コソ可次。朱ハ有子・曾子ガ門
 人ノ
 11 論語ヲ出スト云。コレニヨツテ也。有若ヲ第二ニ次ルハ、有若ガ
 形如_三孔子_一。
 12 身後ニ弟子ノアルガ、イサ有若ヲ師トシテ貴ハント云テ、孔子ノ
 位ニヲ
 13 カント云ガ、曾参ガ来テ見之参腹立スル也。形雖似而徳不似_三孔
 子_一、則不可用ト云。サレトモ孔子ニ似タホトニトテ、_{〔二〕}度貴フ
 14 上ハトテ、第二
 1 (4ウ)ニ置之也。此等ハ口伝ノ義也。二十四之口伝ノ一□也。
 其為人―悌
 2 ハ順也。上トハ君ソ。父也。モツタイナイトテシカルハ、犯_レ上
 也。イサムレハ君ソ
 3 父ソノ氣ニタカウ也。○不好―ソレホトノモノハ、君ヲトリカヘ
 ツ、父ノ
 4 アトラアラソウツナントハセヌ。人ソレハ君子也。本ハタトヘハ
 屋ノ石スエト同
 5 シ也。不孝ナラハ、諸藝ノ道ハナルマイ也。○鮮ト云ハ不審也。
 無シトコソ
 6 ヲカレンニ、鮮トヲカレタガ面白イ也。父ニ孝アル人ハ、父ヲ諫

ルヲハイヤニ思
 7 フ物也。我父ノ自然謀反ナントヲ企テアラム時ニハ、子トシテハ可諫ガ本意
 8 也。故ニナシトハユハスメ、鮮ト云也。コノマストモ謀叛ナントアラハ可諫也。日月
 9 ノ蝕ノコトキ誤アラハ、可諫也。鮮ヲ有トユウハ、一生子ハ父ヲイサメン
 10 也。不好犯上―未ノ字ハマダアリサウナ也。不好犯上トハ、イサメヌ也。不^ル諫
 11 孝ト不孝トアル也。孝行デイサメヌ者モアリ。或ハ、アト、ラントテ、ヲヤヲ
 12 アシク思テ、イサメヌモノモアルソ。故ニ未ト云也。ニツヲ見セシ^ン為ニ、未ト云
 13 也。上ヲト北野ノ点ハアレトモ、東国ニハ上ヲノ点ヲハステ、ヨム也。サリナ
 14 カラ、ケシハセヌソ。乱ヲノヲノ点ハ、不可棄也。仁ト云中ニ、仁・義・礼・智・^信ハ^寄
 1 (5才)ム也。○注ニ―鮮―何平叔力注也。○業可^ニ大成^一也。
 2 子曰巧言―世間ニ真アル者カスクナイト云^フヲ孔子ヲウセラル、^ソ。
 3 而言者ハ心ニハ思ハイテ、言ニ壳弄ヲ云ソ。今色―ソコニヤシンヲ存テ、
 4 向テハ、ニツコト云ソ。カヤウノ者ハ、仁テハナイソ。正直ナコソ仁者ヨ。有若カ云
 5 タカコトクニ、心カフカイソ。スクナイト云ハ、心カフカイソ。

無トハ云ハヌハ、天然ウ
 6 マレツキニ人アイノウツクシキ者カアルソ。亦天然色ヲヨクセウト思ハネ
 7 トモ、人アイノヨイ人カアルソ。天然自然ナル人ハ云事モナイソ。サルホト
 8 ニ、スクナイト仰ラル、ソ。矣此置字古来不審。上ヘカヘルニハ於テ字
 9 タカ、此字ハ不審。論語ニモ爰ニナラテハナイソ。秘書チヤホトニ、云ヌ也。
 10 ○曾子曰―曾参カ^フ三千余人之中ニ一之孝行ナル者ソ。回車於勝母
 11 云々人ナリ。コ、ニ曾子ヲ挙タハ不審。サルホトニ、論吾ヲハ有子・曾参カ
 12 集メタト朱晦庵ハ云タ。曾ハ孔子的々之道ヲ嗣タソ。其謂ハ、子曰吾
 13 道一以貫ト仰ラレタヲ曾カ唯ト云タホトニ、道ヲツイタハ無^ニ不^一審。
 14 吾ハ曾参ニ―メ朝昼暮三度カヘリミルソ。先道ヲ行ハ我身ヲ
 1 (5ウ)カヘリミルソ。ナニテモアレ、人ノタメニワルイ事ハシスル^方ト見、亦次ニハ、胡乱ニナ
 2 イフ云。朋友ノタメニ、百一ナ^フハシ云カトミルソ。亦次ニハ、利根フリシテ、ナ
 3 ラハヌ事ハシ言イ伝ルカトミルソ。此三ツヲ朝午昏三度ツ、カヘリミルソ。
 4 何啻曾子我等身上今日之事ソ。亦一議ニハ三ツトヨムソ。此三ツ

之事ヲ
 5 一ツ、ミルト云ソ。此注ハ皆シソコナウ。夏平叔カ私之注タリ。
 末之一章ヲ云ソ。
 6 ○子曰―諸侯タル者カ大国ヲ收ル法ヲアケタソ。千乗国ト云ハン
 タメ、一国
 7 ヨリ千両ノ車ヲシタテ、出スソ。諸侯カ大国ヲ收ルヲアクレハ、
 諸王カ
 8 天下ヲ收ルハアラハル、ソ。政ヲ以テ国ヲ收メンニハ、先万事ヲ
 ツ、シン
 9 テヲゴルヘカラス。胡乱テハ亦カナウマイソ。信アレ。又国之事
 ヲ用ン。
 10 スル事ヲ節セヨ。竹ニ上下ノフシアルヤウニセヨ。礼ヲスヘキツ
 カイニハ
 11 セヨ。民百姓ヲ我子ヲ愛スルカ如ニセヨ。亦民ヲツカハウニモ、
 用ナイ事ニ
 12 ハナツカウソ。春ハ耕、夏ハ藉、秋ハ收テ、三農ノ月テ民ハ隙モ
 ナイニ、無
 13 用ニ人夫課役ヲカケテハ、ナニカヨカラソ。三農罷後、只三ヶ
 日ツカヘソ。
 14 此時ハ此ヒマノ時ソ。テイノ星カ南方ニ中シタラウウ時、ツカヘ
 シソ。○注四方
 1 (6オ)カ三百十六里、サスレハ周回カ千里也。アレトモ一里タ
 ラサイテ封スルソ。天道
 2 欠盈謂ソ。此外ニ図経デアハセヨ。革車一乗マテカ司馬法之語ソ。
 3 一足カアワイカ三尺ナリ。サスレハ、ニマタカリカ六尺ソ。一議

前之踵ト後
 4 ノ大指トヲフミツラネテ六ツヲ曰「六尺」。畝ハアナカチ長ウハア
 ルマイ。只
 5 四角ニモアラソ。畝ハ母也。物ヲ生長スルホトニソ。畝与母
 道夫ハ、上農
 6 夫ハ九人ヲ養、中農人ハ七人ヲ養、下農夫ハ五人ヲ養云々。尚書
 7 語之夫之地ヲハ一農夫カ請取テツクルソ。屋ハ、イヘテハナイソ。
 夫之字
 8 三ナラウタヲ一屋ト云。夫・婦・子之三カソロウタホトニ、屋ト
 云々。
 9 井ハ、イノモトテハナイ。地形カ井字ノナリニ似タソ。東西南北
 ヘミソホツ
 10 タナリソ。通トハ、コ、カラ通テ談合メ、車ヲシタテ、出スホト
 ニ云ソ。通ト
 11 ハ一城也。一城ニナツタ時、車一両ヲ出ソ。甲士三人歩六十七十
 人乗ソ。
 12 合七万六千人ソ。賦ハ兵賦ソ。居地トハ人ノヲル処ソ。方トハ四
 方ソ。有奇
 13 トハ半里ニチツトタラヌソ。上公侯ハ七百里ノ国ヲモツ。諸侯公
 ハ五百
 14 里ノ国ヲモツ。伯子男ハ三百里ノ国ヲモツ。上公・諸公之モツ
 国ソ。
 1 (6ウ)イカニ大国ナリトモ、千乗ヨリ外出サヌソ。是トハ千乗
 ソ。
 2 苞氏注チツトカハツタ。百里ノ国ト云タカ不審ナ。苞ハ殷ヲ本ニ

云、馬ハ
 3 周ヲ本ニ云。坂ノ東二十里ト云ト、コツチノ十里トハ、大ニチカ
 ウタ。坂東ハ
 4 六丁一里ソ。コツチハ三十六町一里也。周二ハ地ヲホソウ分テ、
 多ニワルソ。
 5 殷ニハ地ヲ大ニ分故、千乘国ニハ百里之國ト云ソ。坂東之十里カ、
 コ
 6 チノ里ト云カ如ク也。馬ハ周公旦カ分タカ、周礼ニヨツタソ。苞
 ハ礼記
 7 之王制ニヨツタホトニ云ソ。カヘイシユクカ、二ナカラチヤウタ
 ホトニ、二人
 8 ナカラノ注ヲ挙タソ。苞―以下、政ヲセン事ヲ云ソ。
 9 子曰―人之弟ソ。ムスコハ身モチカ大事ナ。父母所ニ入テハ、カ
 ナラス
 10 孝行之意ヲモテ。父母闔門之外ヘ出テハ、兄ニシタカヘ。悌ハ順
 也。イカ
 11 ニ父母兄弟ニハヨクトモ、它人ニワルウテハカナウマイ。胡乱ニ
 ナウテ信アツ
 12 テ它人ニマシハレ。若衆頭ニナラハ、如_レ雨露恩沢ヒロク衆ヲ愛
 セヨ。
 13 其中テモ、コトニ仁者ニチカツケ。善者ニ近付ハ、如_レ蓬中麻_一ホ
 トニソ。
 14 是等カ肝要ソ。猶モヒマカアラハ、以テ文ヲ学ヘソ。文ヲ学トモ
 以上之事ヲ
 1 (7オ) シラスンハ、ヘンモナイソト云ハンタメソ。カウ云ヘハ

トテ、文ヲ、トイタテハナ_レイ
 2 ソ。只学テ道ヲトレソ。○子夏―此章ハ賢者ヲ尊ヒ、父母ニ
 ツカヘン事ヲ子夏カ云ソ。子夏、西海テ談議ヲシタ後ニ、目カツ
 フレタ_レ處、法_之殿
 4 脊_シ原憲力来テ訪テ、目ノツフレタ由来ヲ問タ。孔子之道ヲ得
 テ、我ト知
 5 タカヲニ説タト云ソ。原云、我知タカヲテヨムハ、大ニ比興ナ。
 6 孔子之カウ仰ラ
 7 罰カ当テ、目
 8 カツフレタソト教訓スルソ。賢人ヨリ賢人ニナラウト思ハ、見_ミ目
 ヲヨクナレ。
 9 美色ナレハ、人カスイラメクソ。如其論語ヲスイラメイテ尋テシ
 ラハ、ヨカラ
 10 ソ。賢人ヨリ上ノ賢人ハ、聖人テコソアラウスレ、聖トナラン
 トナラハト
 11 云ハウスカ、賢人ト云タハ不審。サリナカラ、人ヲ教ル上ノ重ソ。
 賢ヨリ賢ナ
 12 ラント思ハウタニモ、ヲナカ虫ニモナラウスホトニ、人ニ教ル向
 上ヲ云タ。皇
 13 侃疏議ハ賢ヲ賢トセントナラハ、平生之色ヲカヘヨ。何トカエウ
 ソトナラハ、
 14 衣ヲヨキヲキテ、キツトアイシラヘ。賢人ハ同_レ鷹_ニ。シヤウクワ
 ンスレハ、来ソ。
 賢人ニ近付ハ利カ多ホトニソ。賢者之道ヲ好テ、又父母ニ事テ枕

13 ヨリヨイ者ヲトレソ。向上ニナツタ者ハ、ヒケトモサカラヌソ。
 12 甚ワルイソ。只我
 11 アウタモノヲ友ニトレト云。ソノ時ハ、己カ如クトヨムソ。是又
 10 ト云ニ、タウ人力不審ソ。タテ、問段ヲ四ツ五ツタツルソ。我ニ
 9 再ノ過リソ。不如己
 8 一議ハ学モ堅固ニナイ。主忠―ヲ主トメ、我ヨリ手ヲトリトハ、
 7 交ヘカラス。アヤマツタラハ、ヤカテ改ヨ。カクシテカザルガ、
 6 ラスソ。
 5 威モナイ。其謂ハ性力輕ケレハ、学カヲモウモナウテ、一モアタ
 4 マイ。カルケレハ
 3 ○子曰―此章ニハ、学問ヲセンスル者ハ、カル―シウテハ叶フ
 2 ハ、ヲシムソ。
 1 竭カト云ソ。君ハ閨門外ニアルホトニ、身ヲ致セト云ソ。注愛
 1 ヲカヘテ、打死ヲ
 2 シテマイラセヨ。カウテ朋友ト信アラハ、ネヘイシト云トモ、吾
 3 ハ五經六籍ヲ
 4 ヨク知タ人トイワソ。吾ハ子夏ニ吾ソ。コレモ学問ヲ、トイタ
 5 ヤウナレハ、
 6 猶学問ヲ高スルソ。父母ハ閨門中ニ居ホトニ、サシタ難ハナイホ
 7 トニ、
 8 竭カト云ソ。君ハ閨門外ニアルホトニ、身ヲ致セト云ソ。注愛
 9 ハ、ヲシムソ。
 10 ○子曰―此章ニハ、学問ヲセンスル者ハ、カル―シウテハ叶フ
 11 マイ。カルケレハ
 12 威モナイ。其謂ハ性力輕ケレハ、学カヲモウモナウテ、一モアタ
 13 ラスソ。
 14 一議ハ学モ堅固ニナイ。主忠―ヲ主トメ、我ヨリ手ヲトリトハ、
 15 交ヘカラス。アヤマツタラハ、ヤカテ改ヨ。カクシテカザルガ、
 16 再ノ過リソ。不如己
 17 ト云ニ、タウ人力不審ソ。タテ、問段ヲ四ツ五ツタツルソ。我ニ
 18 マシタラウ
 19 者ハ、我ヲチカツケマシソ。サルホトニ、此語カ孔子之議ニタハ
 20 ヌト云ソ。一議ニハ
 21 アウタモノヲ友ニトレト云。ソノ時ハ、己カ如クトヨムソ。是又
 22 甚ワルイソ。只我
 23 ヨリヨイ者ヲトレソ。向上ニナツタ者ハ、ヒケトモサカラヌソ。

14 故我ヨリヨキ
 13 者ニ近付ケト云議ソ。證拠ニハ、文王之四友ヲヒクソ。此四友ハ
 12 文王ニ近
 11 (8才)付テヨクナルソ。○注弊ハ毛詩三百篇以弊之ト云ヨリ起
 10 ソ。堅固
 9 トヨメ。○曾參―親ニ孝行ナホトニ、父母死時、三年七年ヲヨ
 8 ク
 7 訪フソ。其後十三年卅三年ヲ遠クトモヨク訪ヘソ。サスレハ民モ
 6 上ヲ
 5 学テ、親ニ孝行ヲ致ソ。疏一議ニハ交ニトル無_{ト云}不_{ト云}初克慎終
 4 議ソ。初カラ終マテ、フレスサメス近付ケ。遠トハ今知音スル人
 3 ヲ大切カル
 2 ソ。遠キ知音ヲハ拊ルソ。カヤウナハ、ワルイソ。始終如一ス
 1 レハ、民徳ニヨルソ。
 2 此時ハ、民ノトハヨマヌソ。注二ノ者ハ終遠之ニツソ。○子禽―
 3 子―ハ
 4 初心ナモノ、子貢ハコケタ者也。孔子ハ魯之大夫ニナシムタホ
 5 トニ、夫子ト
 6 云ソ。夫子七十二_節ヶ国ヲ経テ、必其国ノ政ヲヨク聴シムハ、不
 7 審ニ
 8 ソウ。孔子之モトメテ知ラシムタカ、亦其国ノ人カヲシヘテ、シ
 9 ラセ参ラセタカト
 10 問タ。貢答曰、孔子ハ五徳ヲ中ニ御持アツテアルホトニ、其国之
 11 人ノアイシ
 12 ライヲ以テ、ヤカテ御存知アルソ。五ノ徳ヲ定来ニヲシアテ、御

- 覧スル
- 13 ホトニ、ヤカテ御知リアルソ。下民之アイシライニヨツテ、上国王之徳ヲ知ルソ。
- 14 サルホトニ人ニ習ハザレトモ、我ト五徳ヲ以テ、ヲシテシラシムソト云ソ。子禽ヲ
- 1 (8ウ)ヲハ晦庵ハ子貢カ弟子トスルソ。サリナカラ史記弟子伝ニモ○禽カ伝アル
- 2 ソ。五徳ノ譬ヘニ虞芮之民畔ヲ争事ヲヒク。温・良・恭・儉・讓之五ハ、
- 3 一ツヲヒケハ、皆コモルソ。コレハ讓ヲ引テ云ソ。○注明——国之君、我徳
- 4 タ々ヲ民ニシツケテサセテ、孔子ニ見セマイラスルハ、只願イ与ヘテ見セ
- 5 マイラスルデアルソ。○子曰——父生^イテイタ時ハ、子ノ志ヲ見テ知ル
- 6 ソ。タトヘハ博塞之物語ヲスレハ、面白サウニ子カ聞タハ、必スキヤツハ、ハクチ
- 7 打ニナランスト、孔子ノ御覧スルソ。又善事モ如此ソ。サヤウノ子ハ、父カ死ヌレハ、
- 8 ヲノレカシタイヤウニスルソ。○三年——中陰ヲメ、父ノシテイイタラン物
- 9 ヲ何テモアレシナヲスマシキカ、孝行ナソ。此章ハ、孔子人ノムスコヲ見ルヤウ
- 10 ヲ挙タソ。三年ト云ハ不審ナヨ。孝子ハ、イキタラウ一期モ中陰ヲシ
- 11 タイソ。不孝ノ子ハ、三日モシタウモナガルソ。故キリヲタテ、三年ト云
- 12 ソ。人の子ハ三ツ子マテカ^{ヤシ殿}○ナイニクイソ。故三年ヲカキリテ中陰ヲメ、
- 13 其恩ヲ報センタメニソ。○有子——礼樂之二ヲ挙ソ。用ハ体ト用トノ二ツソ。礼ノ体ハ樂ソ。用ハ和ソ。樂ハ人之心ヲ和セヨト^ス、云^ハ
- 14 (9オ)ルモノソ。先王モ此礼樂ニヲ^ス為^メ美^{ヨシト}。サルホトニ、大小ニ用ルソ。カタ一方ハカリ
- 2 テハ、行ナハレヌソ。礼トハ清規之面ソ。又梵罔禁戒面ソ。樂ハ和ソ。サノミ
- 3 キツイ計テハ叶ヌホトニ、樂ヲシテ和セシムルソ。人ヲ收ルニ、キフクスル時
- 4 モアリ。亦ユルクスル時モアランスルソ。此ニヲ両輪ノ如ク相代シテ用ルカ
- 5 美ソ。礼ノ用ハ敬也。樂ハ和也。サラハ敬之用トコソ云ンスレ。サレトモ礼ト
- 6 イヘハ、敬ト皆心得ルソ。樂ヲハ和トハ人カ心得ヌホトニ、サテ樂トハ云ハテ、
- 7 和ト云ソ。十二ノ樂カトレカ別々ニモキコヘイテ、ノン／＼ト聞ユルハ和也。人ニ
- 8 ヨリアウニハ和カ肝要ソ。敬之用ハ和為貴トコソイハンスニ、礼計云テ
- 9 樂ヲ云ハヌハ、樂ト計云テハ人カ心得マイホトニ、和ト云ソ。畢竟賞

10 罰之ニソ。 ○有子―信トハ不欺。語義ハ隨_レ宜_ニ。語信ト
 11 義トハ、ウシロチカイナ。信シカタヘ近キ義ニ近ウセヨ。サセハ
 言可_レ復ソ。信トハ、
 12 疏或問ニ義ニ叶ハヌ信ヲ問ハセタ。美成ト云者カ恋ヲシタカトゲ
 尾生
 13 梁_シ下テアイヲツタ。又約束シテユキタ時、女ヒマガ入テコヌ時、
 大雨フリテ、ハシヲ
 14 フシナカス。爰ニマタイデハトテ、其マ、流テ_死タソ。是ハ信計
 ヲ守タ者ヲ
 1 (9ウ)ソ。信之方ヲツヨクトレ。信之議ニ近スレハ言_レ復シテ、
 シルシトナルソ。疏意
 2 ニハ宜ニ随テ掀倒メ用ヨソ。美成行カハシ柱ニトリツイテ死タハ
 愚
 3 痴ナソ。一転シテ用ハ言復メ、シルシニナラウソ。恭ハ慰勸ナソ。
 本注ニハ
 4 深礼ヲセヨト云。サウタニモセハ、恥ハカクマイソ。疏ニハ隨_レ
 宜ソレ_レニヨツテ
 5 セヨ。因ハ親也。一族ヲ親ク、ムツマシウスル義ソ。礼記ニ 本ノ母也
 母ト繼母ト
 6 如同セヨト云故云。 ○子曰―人ヲ学問ニス、メテ仰ラル、ソ。
 7 君子ハサノミ物ヲ多ク食ハントハ思ハヌソ、_レレヲ思ハンヨリ、
 学問ヲ
 8 セウト思ヘソ。居所モ亦如此。敏_レ事―何デモアレ、スル_レニワ
 サト
 9 セウ_レヲトクシハテウト思ヘ。サウシテ言ヲツ、シメ。クチデタ

10 ヤスウ
 物ナ云ソ。サウテ道アラン人ニアウテハ、タ、セ。カヤウノモノ
 ヲコソ好
 11 学ト云ハンスレ。已_ミ矣トハヅントカウ云ハデ、カナウマイ処ニ置
 ソ。
 12 ○子貢―三千余人中ニハ、モチマルソ。タノシイ物ノクセニ、驕
 ルカ、
 13 子貢ハ学問ヲシタホトニ、ヲゴラス。サルホトニ、挙テ孔子問テ、
 我名
 14 ヲ發セントテ問タ。コレハ小玉タ。下ヲ云ハンタメソ。 富テ―
 ト云
 1 (10オ) カヲノレカ事ソ。我事計ヲ云タラハ、定孔子ニケツラレ
 ントテ、先上之
 2 貧而―云語ヲソヘテ云タソ。可也。子細モナイソ。ソレヨリヨイ
 事
 3 カアルハ、未若―貧メ道ヲ樂タコソ猶ヨケレソ。富―タノシイ
 者ノクセニ、セチベンナガハルイ。ワトノハ、ヲコリハセヌカ、
 4 チトセチヘンナソト云
 5 ソ。○子貢―毛詩衛民公ヲホメタ語ニ、人ニトギミガ、レテ、ヨ
 クナラレ
 6 タト云タハ、如其今日孔子ニミガ、レテ、身カワルイ事ヲ知タヨ。
 今ヨリ
 7 後コソ、手ヲヒロケテ、フルマイサウスレト云タソ。○子曰―今
 日ヨリ
 8 後カラコソ、ワトノトハ詩道ヲ語ウツレ。詩ヲハニツクウ知タヨ。

往ハサ

9 キノ事ソ。利根ナホトニ、サキヲ知テ後ヲ知タソ。貧ニ道ヲ配富ニ札ヲ配ハ、各ヲコナイヤスイホトニ、カウ仰ラル、ソ。○注貧ク賤シトヨメ也。

11 磨注告ハ言之往来。ソコテ申カソナタノ耳ヘ入ソ。来答モ言カ来タソ。

12 ○子曰―人ヲ知事カ大事ナソ。人コトニ吾ニ目ヲカケヌトテ、患ルソ。

13 ソレヨリ、ヲノレカ人ヲ見知ラヌヲ患ヨ。宰相タル者カ人ヲ知ネハ、賢ヲ

14 アケヌ。学問スルモノカ人ヲ知ネハ、人ヲ^ズメエヌ。人ニ知ラレサルヲハ患ベ

1 (10ウ) カラス。人ヲ知サル事ヲ患ヨソ。
為政―家之本ニハ (本行、以下空白)

3 天下之政スル事ヲ御説アル篇ソ。政字ハ政ハ正也。何テモアレ、無理ニス

4 ルヲ政ト云ソ。此篇ヲ学而之次ニヲクハ何ト云心ソ。学問ヲシテ物シリタカルハ、一国之君トモナラン用所ニ、学問ヲスルソ。故此篇ヲ

6 学而之次ニヲクソ。左伝ニモ学而後政ニ入ト書クソ。○子曰―政ヲスルヤウヲ仰ラル、ソ。只徳ヲ以政ヲハセヨ。徳之字、心ハ徳ハ得也。

8 何テモアレ、自ソレ^ヲ之上ニヨツテ、正ク收ルヲ徳ト云ソ。人ヲキリタ、

9 キセザレトモ、自天下カ任運ニヲサマルヤウニスルヲ徳トハ云ソ。

アガイテ

10 エウスル物デハナイソ。是計テハ心得マイホトニ、譬喩ヲタテラレタ。

11 徳ハサウドウセス、任運ニ得ルカ本ソ。○北極之中央ニアル紫微星也。

12 紫微宮ニアル星之天帝王也。衆星ハ諸之無名星ソ。此衆星カ

13 北辰テリマハイテ出仕シタヤウニ、帝王之紫宸殿ニキツトシテ御座アル。諸侯カ奔走メツカヘ申カ如シ。其ハ向也。臣下カ君之御

1 (11オ) 前ヘムカウニトルソ。カウニアラハ為政之本ソ。王侯之分上ハカリニカ

2 ケテ見ハ論語デハ有マイソ。一人樹下石上マテニ、カクノコトクセヨ。

3 注徳者無為。人二分上本職ヲヨクスルカ無為ソ。アナカチハツタラカ

4 サイテヲルカ、無為デハナイソ。禅僧カ論語ヨムハ有為ソ。見性成仏ノ

5 道ヲ守ハコソ無為ヨ。二十八宿ハ春・夏・秋・冬ニカワツテ四方ヘマハルソ。此

6 北辰ハチツトモウツライテ、中央ニアル星ソ。猶ナヲシトヨムマイソ。只

7 ナヲトヨメ。○子曰―前篇之證拠ニヒクソ。政ヲスルニハ、ヲ、ク物ハ入ラ

8 スト云事ヲ云ソ。三百篇ハ「^問」関雉至路抄イカホトノ理カアルラウナレ

9 トモ、タツタ一言ナラテハナイソ。其ハドノ一言ソ。思無邪之一言ソ。毛詩ハ

10 何ト説タモ正直ナレト計ニ説タソ。政モ如此イクラノ政ニモ万機之政カ

11 アレトモ、只徳ヲ以スルカ肝要ソト云ソ。晋衛灌カコヽヲ見出タル議勢

12 アリ。思無邪三字カアマツタ。只聖ヲ思ヘト二字ニ云ヘカシ。思無邪ハ按

13 理則只聖也。サレトモ我ト取テカヘイテ見ナラス初心ナル者ニハ、カマイ

14 テユカムマシヽト思ハセウト、ヨク学地之者ニヲシユル手タ○ニ孔子之

1 (11ウ) 仰ラレタヨト見ナラスソ。剰語テハナ^イソ。注帰於正善注ソ。

2 ○子曰―孔子又政ラスルニハ徳カヨイソ。刑罰ヲ以テスルハ、ヲトツテ有ル

3 ト云フヲ説タソ。政トハ清規之面ノヤウナソ。清規之如クヲコナヘ共、

4 行ハレサレハ、以^テ刑スレハ、民カ此トカヲ免レントテ、直ナカヲ、シテ

5 曲ナホトニ、ワルイソ。只徳ヲ以収メ、斉フルニ礼ヲ以スレハ、民カ恥ル心カ

6 アツテ、正ウメヨイソ。譬ヘハ我房主テイウスカ、我ハヌタデ、同宿ヲ

7 折檻スレハ、同宿カキカヌソ。礼ヲ以テ云ヘハキカヌホトニ、腹

立メ刑ヲ以

8 テ後ニハ折檻スレハ、同宿トモカ我ハ大酒ノンテヲツテ、人ハカリヲ折檻

9 スルトテ、先マヘギラメキヲシテ、フクセヌモノヲフクシタト、云イナラハヌ

10 手ヲナラウタト云ソ。是等コソ恥無キ證拠ヨ。サテ又坊主カ持戒テ居テ、同宿ヲセツカンセハ、同宿モソコカラ帰伏メヨク随ソ。是コ

11 是コ

12 ソ有^テ恥格キ證拠ヨ。且ハ鴻雁飛ヌ鳴之心。重之時ニ且字ヲ置ソ。

13 添義ソ。注苟―マゲテ随議ゾ。

14 ○子曰―此章ニハ、聖人之跡ヲカクシテ、凡人ニナリカヘツテ仰ラル、

1 (12才)ソ。孔子ハ自然之聖也。アレトモ人ニ学問ヲサセントテ、カヤウニ云ソ。十五ハ

2 青童年テ恥ヲ知年ソ。此年テ大学ヲマナフソ。五経六籍ヲヨマウト志ソ。一経ヲ三年ツヽ学タツルソ。五経ヲハ十五年ニ学タツル

3 ル

4 ソ。サスレハ三十之年、人ニモヨウテキカスルホトニシタソ。四十―其後ハ

5 平生学タモノヲ十年工夫シテ議理ヲ案スルソ。サスレハ疑イ惑キ事ハナイソ。純熟シタホトニソ。此年ニ窮通シ、天命ヲ知ルソ。

6 貴

7 賤富貧、皆窮通ソ。人ハ五十二ナルマテ願フヲ思テ、シヤチカカカ、

8 五十ニナツ、レハ、天之運数ヲ知テ不願ソ。六十―孫綽云、易大

9 衍数カ五十テ、天地陰陽之數ヲトリツクスソ。故此筮之數ニア

10 タツタホトニ、此數ニアワセテ見ト、ケタソ。六十―六十二ナレ

ハ、ヤ

11 カテ物ヲ聞テハ聞シルソ。其謂ハ純熟シタホトニソ。イカナル大

事

12 問段ヲモ、一度キケハ心得ソ。耳順トハ、工夫熟セヌトキハ、耳

逆ウソ。

13 ハヤ熟シツレハ、順ソ。何ヲキケトモ、チヤツト聞シルソ。七十

―七十二

14 ナツテアレハ、随意ニフルマヘトモ、行イ入タ身タホトニ、法度

外ニハフルマハ

1 (12ウ) サツタソ。聖人説邪法々々悉成正法謂ソ。孔子ナレハト

テ、随意ニフルマ

2 ハ、法度ニハモレウスレトモ、聖ハ自然ソ。故云、縦然一夜風

吹去只

3 在蘆花浅水辺云々心ソ。八十ヲ云ハヌハ、七十三テ崩シタホトニ、

云

4 ハヌソ。○注終リ始メトヨメ。微旨ハ深旨ソ。ヨク見ヨソ。

5 ○孟懿―魯大夫仲孫何忌、孔子ノハウバイソ。親ニツカハレウス

ル法

6 度ヲ問申タ。子曰、何テモアレ、親ノ云事ニ礼ニタカウナクテ、

仕ヘヨト

7 被仰ソ。孟―カ心得ヌ。サレトモ心得タカラテ、立退クソ。孔

8 子亦ヤカテ

心得ヌト見テ、其後孔子ヨソヘ御出アル時、樊カ馬ヲヒカヘテ立

ヲ、孟ト

9 樊トハ知音也。以前之無違之理ヲ定孟カ樊ニ問ハント思ハレテ、

樊ニ

10 仰ラル、ハ、此孟無違ヲ心得タカラテイインタハ、ヨクソレヲ云テ

キカセ

11 ヨト仰ラル、也。其時、樊カ云、ソレ何ト云事ニテソウスヤラン。

答曰、ヲヤ

12 生テヲラウ時ハ、礼ニソムカイデ、ツカハレヨ。死ヌル時モ、葬

之礼ヲ以テセヨ。

13 其後祭ラウモ、祭之礼ヲ以テセヨト云心ニ云タソ。先生タ時之礼

ニハ、

14 席ヲ温メ、枕ヲ扇ギ、昏ニ省ミ朝省ヨソ。又死ヌル時ハ、イカニ

モツタ

1 (13才) レハトテ、綿ナントテハ龜ヲハ、ルマイソ。礼ニ任セヨ。

分限ニ随テ、紙ヤ絹

2 ヤテハレヨト、カウ答ル心ハ、孟カヌタナ者タホトニ、サテ無違

ト仰ラル、

3 ソ。此議カ善ソ。孟カ孝ヲ問タ時、樊カ一ツ御座敷ニイタト云ハ

非ナリ。

4 ○孟―懿カ子也。又孝ヲ問タ。父母ニ、ナニテモアレシラセソ。

疾之時ヲハシラ

5 セヨソ。式ハ盜シタ、或ハ、バクチ打タト云事ヲバ、ナキカセソ。

キカバ、キモヲ

6 サハカセンホトニソ。コ、テハカヘテ答ラレタカ妙ナソ。ナシヨ
ニカウ仰ラレタソ

7 トナレハ、キヤツハナイホト我意ナヤツ也。故云タソ。○注非ハ
盜賊等類ソ。

8 ○子遊—文学之弟子ソ。今孔子時代、孝行ニハ、ヲヤニハ物ヲヨ
クシテナ

9 ラセ、物ヨクシテキセタヲ、ヨイ孝行ト云。サレトモ孔子ハヨイ
孝行トハ思

10 召サヌソ。若其ヲヨイト思ハ、譬ヲ引テキカセン。犬モ人ヲ養、
馬モ

11 養。夜フセライテ、盗人ヲホユルハ、自養ト同事也。犬カコチヲ
ヤシナウテ

12 有^レハ、盗ニモノヲトラレヌホトニソ也。馬モヲモイ物ヲ、ウセ
テ、余所ヘモツ

13 テイキテ、我辛勞ヲヤスルハ、馬カ我ヲ養テ有ソ。犬ハ路透者
誰ソ。我ハ門守者也トホヘルソ。犬モ馬モ、コ^ナヲ養ヘトモ、
インギンヲハツク

1 (13ウ) サヌソ。イツ犬メカ身コソヨウ吠マイラセテアレ、イツ
馬カ身コソヨク物ヲ

2 ヲイ申デアレト、慰懃ニ云タ^レカ有ソ也。如其人之子モインキン
ヲツク

3 サイテ、養ハカリナラハ、曲モナイ。只犬馬ト同事ソ。故慰懃ヲ
イタサウス

4 カ孝行ノ本ソト被^レ仰ソ。犬馬カコチヲ養ト、コチカ犬—ヲ養ト、
二議ハ

5 理ハ一ツ也。本注又一議コナタカ犬馬ヲ養イソウソ。ワケヲメ犬
ニクレヌ

6 カヲメ、馬ニクル、ホトニ、サレトモインギンニシテハクレヌ。
犬馬ニコレキコシメセ

7 ナント、慰懃ニハセヌソ。如其子ハ慰懃ヲツクサスハ、犬
馬ニヒトシカ

8 ラウソ。只インキンナラウカ肝要ソ。是ハ子遊ハ文学第一ナホト
ニ、コレホトノ

9 理ハマヨウマイケレトモ、子遊ニヨセテ、ソハニカヤウノ人カア
ツタケナソ。ソハ事

10 ヲ云タソナリ。注孟子—唐ニハ豕ヲモ雁ヲモ羊ヲモ養イタテ、
恩ヲ見セテヲイテ後ハクウソ。其コトク、父母ヲヤシナイ殺シテ
後、

12 跡トラントテヤシナウタハ、是等ニ同キノ。如形養テタチイラハ、
目クシ

13 ラウトスルハ、孝行テアラウカ。ヨモアラシ。

14 ○子夏—色難トハ、父母前エ入テハ、父母ノ顔色ヲ悦ムルカ、難
議ナ

1 (14オ) ソ。孝行ナル子カクレハ、親カ一見メ、ヤカテウレシサ
ウナソ。カウヲコナイ入ル、

2 カ、大事ナソ。有—父母之セラル、ワサ之時、弟子タルモノカ
代テスル

3 カヨイケレトモ、孔子ハイヤト思召ス。饌ヲモハツヲ、取テヲイ
タリスルモ、

4 孔子ハウケカハヌソ。ワトノハ是等ヲバシ孝行ト心得タカ。大ニ

5 ワルイ。ソレ
 ホトノ事ハ、它人モスルソ。サテナニカ孝行ソ。只色難トコソ孝行ヨ。
 6 注曾ハ鄭注即也。皇侃疏ニハ曾トシタソ。以下回人孝ヲ問タヲ
 応機答ルソ。○注先生ト云ハ名譽ノ注ソ。弟子ト孔子ノ仰ラレ
 タハ、
 8 子弟ニカ、ツテカ仰ラレタガヤウナホトニ、サテ父兄ヲ云ト注也。
 其謂ハ、父母
 9 ノ事ヲ問タニ、ナンノツケニ子弟ニツイテハフセラレウス。孔子
 広大ニ云ホト
 10 ニ、在_レ三事同シト云々。師・親・君、三人ニツカハル、時ハ、
 トレモ心ハ同物也。ヒロイ
 11 事ヲ次_ツテニ云テキカセンタメニ、父兄饌トハ云ハイテ、先生饌ト
 云
 12 ソ。弟子ハ、ヲト、カアニノスル事ニカハツテスル事ソ。
 13 ○子曰―未_{タカハ}違者、顔回力能者タトモ知ラヌホトニ、能者タト云
 テキ
 14 カセラル、ソ。回ハ聖大才タホトニ、孔子之言句ニアラハル、処
 ヲハ、ヤカテ
 1 (14ウ)知ルソ。心形処滅之田地ヲハ未知故、イマ_タ賢人也。聖
 人ニハ未_レ到。チャツ
 2 ト見タレハ、愚痴ナ者ヲ見ヤウテアルホトニ、人力疑ソ。問ハウ
 スル事カ
 3 ナ○ソ。サルホトニ愚痴者ノヤウナソ。サウアレトモ、門弟子ト
 モ心得ヨ。回カ私

4 之家ヘモトツテ、弟子共ニ教ルヲキケ。吾孔子道ヲヨクマナシテ、
 チツ
 5 トモ我ニタカハヌソ。回ハ愚痴ニハナイソ。○吾トハ孔子ノツソ。
 前ノ
 6 カキヤウアヤマツタソ也。○注二三子ハ法眷テモアレ、我弟子テ
 モア
 7 レ、二議ニ見ヨナリ。 ○子曰―是ハ人ヲ見知ランスル事
 ヲ仰ラル、ソ。孔子人ヲハソコツニ美モセス、謗モセス、所以
 トハ、文之本ヲ
 8 人カモツテアルソ。見テチャツトハホメマイ。適ニトルコモアル
 9 ソ。所_{ズル}由トハ
 10 イツモステス、文之本ヲ手ニモツテアレハ、ケニモト思フソ。猶
 其ヲモ不肯。
 11 其謂ハ、足音ヲキ、テ、学問スルカヲテ、チャツト文之本ヲトル
 事モアリ。
 12 所安―此人カ起居動靜ニモステス、学問ヲ心中ニ安シテワイタ
 人タト見ト、ケテワイテ、其後、此人ヲハ学問ヲスル人ト思ウソ
 ト仰
 14 ラル、ソ。カウアル時ハ、人モカクサヌソ。二度云ハ、フツツト
 カクシエマイト云
 1 (15才)議ソ。三之ミルノ字別々ナ。視觀察_{モテユル}以_{ヨル}由安トカイタハ
 何ソ。視ハ直視スル
 2 ミルソ。当座テ、チャツトミルソ。以モ当座ニ用ソ。観、深クミ
 ルソ。察ハ明
 3 也。天然安スル所カアルヨトミルカ、カウヂヤソ。注_{チヨク}匿_(數字分空白)

4 ○子曰——人之師ト成ウモノハ、物一部二部ニテハカナウマイソ。旧ト読タ物也トモ、細々フク
 5 セヨ。サシテ新ウ物ヲナラヘ。旧学計テハ、日新ハナニカアラウソ。サヤウ
 6 ノモノカ師ニハナラウスソ。只智恵広莫ナレ。温字不審。礼記・中
 7 庸ニ出シタ。温読ム燂温之燂ノ如シ。通^レ燂^メ用ルソ。タトヘハ、ヨイ
 8 カライモカンヲニテヲイテ、ソレヲ朝火ヲタイテアタ、メツレハ、ニタル
 9 始之如クナルソ。モトヨミタル物ヲフクシテ、ヲホヘルハカリノ如クナルソ。
 10 サテ温字ヲ書ソ。○子曰——君子トハ有徳雅号也。君子トヨバリヨウスル者ハ、器テハ叶フマイ。舟ハ水計ニ用イ、車ハ陸計
 11 ニ用ソ。一ツノ^レニ用ニ立テ、別之用ニハ立ヌソ。如其君子ハ一□テ
 12 ハ叶フマイ。注器——ヨイヤウニ聞ヘタレトモ、中^{ウチ}輪ハ夏計、履子ハ
 13 雨フリ計ソ。其如クニ、ソレ^レ計ニ周キソ。
 14 (15ウ)○子貢——サテ君子ハナニタルカ君子^ソウソ。答曰、君子ハ口ニ云事
 2 ヲ身ニ行フカ君子ソ。言、子貢ハ口計テ、身ヲ行ハヌ者タホ○ニ^ト仰

3 ラル、ソ。又疏一議ナテモアレ、ロニ云事ヲハ人之法ニナル^事云ソト云義アリ。○子曰——君子小人之異ヲハカツソ。周
 4 ハ忠信ソ。徒党タテナシソ。注阿党トカタヒイキス。無私故不比云々。
 5 君子ハ忠信アツテ、徒党タテヲハセヌソ。小人ハ忠信ハナウテ、トタウ
 6 タテヲスルソ。○子曰——学タホトヨイ事ハナイソト云ソ。学テ後思テ議理ヲワケネハ、罔然トメ覺ヘヌソ。思而——心ニクイ
 7 ト学問シタカツタ計テヨマヌハ、精神府テキナソ。疏一議ニハ^{シユトヨム}罔^{ソラ}。
 8 云ホトニ、ソラ
 9 云ホトニ、ソラ
 10 事ヲ云イツクルソ。注終イニ卒イニトヨメ。○子曰——百家之書ヲドコト
 11 モナウ学ソ。逐鹿者不^{ト云カ}看山コトク論語ナ^ラハ^ハ倫吾計取ツメテ学ヘ。異端トハ指^ニ仏者。及莊老・墨翟ヲサスソ。カヤウノ異端ヲ学ハ、
 12 我身ヲ害シソコナウニ当テワルイソ。攻ハ学ル心ソ。仏氏語比^ニ之楊翟^淫
 13 (16才)声美色云、程明道カ云ソ。注統ハ本^{モト}也。五經ハ本カ正ソ。道ハ別々ナ^{ヲモムキ}
 14 レトモ、婦ハ同ソ。子路、孔子ニコナサレテ、セメテノ^レ三^ウヲ^ダデテヲシテミセ
 3 ントテ、虎ヲトラヘタ。孔子知テ、如此被^レ仰ソ。○子曰——子

路ハ我意

- 4 ナ者テ、知ラヌ事ヲモ知タト云者也。故云ソ。知ラヌヲハ知ラヌト云へ。是カ
- 5 知タヂヤソト、孔子之頭ヲハラウドシタル者也。キヤツカ弟子ニナラヌサキ
- 6 ニ、人カツヲク孔子ヲホメタ。其後弟子ニナツテ齊青之間ヲトル時、孔子
- 7 ノドガカワク。アソコナ水トリテコヨト仰ラル、処ニ、山キハノ水ノモトへ行
- 8 テ、虎ヲキヤツカトラヘテ、尾ヲネチキツテ、モツテキタ。虎ヲ殺ニ
- 9 道アリヤト云。孔子知テ曰、上智ハ取頭、中智ハ取腰、下智ハ取尾云々。其
- 10 後、又石ヲフトコロニ入テ人ヲ殺ニ道アリヤト云。孔子知テ曰、上智ハ以謀、
- 11 中智ハ以筆、下智懷石折人云々。カウユハレテ、屈伏メ弟子ニナツテ学
- 12 門ヲスルソ。○子張―御弟子ノ子張用義ノヨイモ^ゾ。キ
- 13 ヤツハ慾^カヲフカイ者ソ。餘トハ慎^アマリソ。人カ物ヲ云トモ、疑キ事
- 14 カアラハ、ナ云ソ。疑ナイト思ヘトモ、猶モツ、シンテ云ヘハ、尤^{アヤマチ}カスクナ
- 1 (16ウ) イソ。人ノ殆^{アヤキ}ヲ見テハカキテ、猶^{アヤマ}マ□後悔スル事カナイソ。
- 2 言―ニツヒツクヒル。言アヤマタス、行テクイズハ、ヤカテ其中

ニ禄

- 3 カアラウソ。寡ヲハ無トハ云ハヌハ聖人之言ソ。ツヲク慎マ^{セウ}タメソ。慎^シンタリトモ、猶モ尤悔カアランホトニ、ツヨク慎悔サセウトテ、
- 4 セウトテ、
- 5 云タソ。程明道カ此語ヲ嫌タ。若顔閔ナラハ、禄求ンヲハ問マシキ事ソ。注不得禄不審。顔閔モヨク身ヲ行タレトモ、位ニハヲラヌソ。アレトモ時世カク○ヤミテ、用ヌテコソアレ、用イハ位ニアランスルモ
- 6 ノヲソ。禄ヲハ得ネトモ、得タト同事ソ。○哀公―魯十二諸侯末之君也。孔子之為ニハ主ソ。問曰、何トシテカ民隨ハン。季・孫・孟、三子
- 7 末之君也。孔子之為ニハ主ソ。問曰、何トシテカ民隨ハン。季・孫・孟、三子
- 8 ノヲソ。禄ヲハ得ネトモ、得タト同事ソ。○哀公―魯十二諸侯末之君也。孔子之為ニハ主ソ。問曰、何トシテカ民隨ハン。季・孫・孟、三子
- 9 孫・孟、三子
- 10 カ我意ニスルホトニ、民カシタカハヌソ。対曰―孔子ハ臣下タホトニ、
- 11 対云タトワイタソ。只正直ナル者ヲ挙テ、三公九卿位ニ御ヲキアレ。
- 12 枉者ヲハ、ツガルカツフヘ御流シアレ。正直ナ者カ^位ニアレハ、民服。只今哀公
- 13 之政ニハ正直ナ者ヲ御ヲキアツテ、無道ナ者ヲ御アケアルホトニ、服セヌ。此
- 14 語中ニイマ季・孫・孟カ事カコマツタソ。此等ニ恐レモセイテ、カウ云タハ、誠トニ
- 1 (17オ) 聖人ソ。〔丁〕^ア哀公千歳―聖賢充国云々好耳目悦徒有此文ト
- 2 康季カソシル也。国ヲハ収モエイテイテ、ナマシイ□此問ヲ挙タホトニソ。

3 ○季康——魯季孫ト云。孔子ヨリ官カ高者□。民ヲ敬ニメ忠アツテ
 我^{民ニ我}業ニス、マンヤウニ行イタウソウト問タ。答云、先貴方ノ
 4 インキンニ御入アラハ、
 5 自民モインキンナランソ。先敬ヲ答ソ。又上ニハ孝行之心ヲモチ、
 下ニハ慈愛
 6 ノ心ヲ以民百姓ヲアイシラハ、シメハ自民モヨカラ^ヲン。コレハ忠
 ヲ答。又賢者ノヨイ
 7 モノヲ挙テ、位ニツケテ、不能ナル者ニヲシヘサシムハ、自民モ
 8 ヨカラ^ヲンズテサウ
 ト答ルソ。三ツ答ルソ。一々ニ見レハ、魯之君之上ニ見ヘルソ。
 ハウバイニ対メ
 9 カウ答タハ、ヲカシケナル君カ当住持チャヨ。誰ソト云ヘハ、魯
 ノ哀公ナリ。
 10 季康子カ此時權柄ヲ取タホトニ、如此答タソ。○或謂——姓名ハ
 11 誰トモ不知、朱晦庵カタ、シタニ、孔子三十四五之時、魯君鄭公
 之時代ニ
 12 ヒツコンテ御入アル時、或人云御出アツテ、封侯メサレヨトス、
 ム。サレトモ待^待価^価。
 13 一ツ。次ニハ ^(十字弱空白) 三ニハ陽貨起^起乱。此三ツカアルホト
 ニ、シン酌
 14 メ御出モナインソ。答曰、位官ニ居タ^リトモ無道デハ叶マイ。一ケ^(一)
 半ケ
 1 (17ウ) アリトモ、身ヲ収ルコトヲスルコソヨ^レ。尚書云、先
 親ニ孝アリテ、次ニ兄ニ弟

2 ハシタカイ、思アウカ政之本ソ。施^{ヲコナフ}ニ於^ニ有^ル政——カウスルコソ
 3 政ヨ。
 以下ハ孔子語
 3 奚^サ正ク答ル。言、官位ニ居テスルハカリハ、政デハナインソ。
 4 正^サ□ヲ^ヲレハ一ケ半ケ居タレトモ、政ヲスルソト答タ。尚書ニハ此語
 影略互見
 5 之古文体ソ。孝乎孝ト云タラハ、友テ友トコソヲカンスレトモ、
 影略可^レ見。
 6 山花山鳥皆友テ云々。コ、カラ起ソ。○子曰——人ハ胡乱デハ
 7 叶マイト云^フヲ御挙アツタソ。人トメ信^マ無則其^マ余技藝ハナニヲ
 以タリ
 8 トモ不可ナラン。余之能力多クアリトモ、胡乱ナラハ不能之人ソ。
 大車——
 9 信之肝要ナル譬ヘソ。大——ハ牛之引ク車ソ。具足カ多ケレトモ、輓^{クヒキ}
 カ無ケ
 10 レハユカヌソ。頸木之上ニ又木ヲソヘテヒカスルソ。此木カヨハ
 ケレハ、車ハヒカレ
 11 スソ。人タラウモノハ、信カ無クハ、カウアラウソ。小車ハ駟馬
 車ソ。驂馬・服馬
 12 トテ馬カ引ソ。マン中ニ轅^{ナカ}カーツスウト出テ、ヒキ、□□ノヤ
 ウニノント出タル
 13 モノカアル。此木ノマガリメヨリ上ヲ輓^{ヨリガミ}トハ云ソ。此木ノ両方
 14 ニ横木ヲ
 ユイツケテ、ソレヲヒコス、ルソ。人亦信無ンハ、如此ナランソ。

車^{キョウ}車^グハ日

1 (18才) 本之儒者力読誤ルソ。車^{キョウ}車^グハ車大小トヨミツケタトテ、カウヨムソ。魚音

2 ニ入ハ、唐云、音麻テハシヤソ。アナカチ大小ニヨツテヨミカエンスル道理ハナ

3 イソ。侖吾ニ車カサルヤウト云ハ、コ、ノ事ソ。○注^{ツレキ}柅トハ頸木之

4 助木ソ。身力見出テ、カヤウカアレトモ、人之信セラレヌホトニ、今モ申サヌト云

5 ソ。四馬―馬力四足シテ引ソ。軌字カ善キソ。軌ハ惡ソ。

6 ○子張―ハ孔子弟子ソ。時世之ヤウカ定ラヌ夏之世ハ、文華テハナヤカ

7 ナツタ。其後、殷湯ハソレヲキラツテ、淳素質朴ナツタ。ソレカワルイテ、

8 周王ハ又文ソ。華ニアタツタソ。我等力見テタニモ、三代別々ナルホト

9 ニ、今ヨリ後十世之後ハ、何トカ代カナリ以テユカウスラウト問タソ。孔子

10 曰、先三代ヲ以心得ヨ。殷ハ夏ヲ伐テトツタホトニ、夏礼ニヨツテヲコナウ

11 タソ。夏之時モ君臣・父子・夫婦之三綱ハ同モノソ。殷之代ニモカハラヌソ。仁・

12 義・礼・知・信、五常モカハルマイソ。其中ニ損益力アラソ。其謂ハ殷テハ素色

13 ヲ用、夏テハ玄色用ソ。正月ヲ用ヤウカ、ハハラウソ。夏世ニハ

十二月ヲ正月

14 トスル。殷ハ十三月ヲ正月ニ用イ、色ハ素ヲ用ホトニ、チツトノチカイメノ

1 (18ウ) 損益ハアラウスソ。猶モネンゴロニ云ハ、ウトテ、周ハ又殷ニヨルソ。周ハ素ヲトツ

2 テノケテ、赤用ルソ。コレハハチツトツ、変スルソ。今ヨリ後百代二百代マテ

3 モ、チツトツハハカワルトモ、大ニハカハルマイソ。周力変シテ別々之王ニ^{チツタ}

4 リトモ、サシテ百世ト云トモチカウマイソ。アルカ或字ヲカイタカ不審也。

5 有字ヲカイタラハ、一定周御代カタヘント云心テアラウスルホトニ、語ノアヤマ

6 リニ云ハセシトテ、或ヲカクソ。アラマシ事ナレトモ、譬ヘニカクホトニ、或ヲ

7 カクソ。正月ヲ立ニ三ツヨリ外ハ変スマイソ。十一月冬至ヲトルカ、十二

8 月ヲトルカ、又十三月寅ヲ取テ成スカ、此三ツヨリホカハ替ルマイ。十一

9 月一陽、十二月二陽、十三月三陽、交泰スルソ。天・地・人、三才ニトルソ。一陽

10 ハ天ノ気カ芽スヲ、十二月ニ地力請取ホトニ、二陽ト云。十三月カラ人功カ

11 及ホスホトニ、人統トテ人之功力及スホトニ、以是三度ナラテハ正月ハ変

- 12 スマイソ。周ハ赤色ヲ用ハ何ソ。十一月ハ天之^ニ陽^ノ之^ニ氣ヲウケテ、
赤
- 13 ソ。梅ノサネナトモ、チツト陽ヲウクレハ赤クナル^ゾ。殷二十二
月ヲ用ル、素
- 14 色ヲ用ルハ豆デモ何テモアレ、土中ニアツテ、シロクメツクツテ
アルソ。故白ヲ
- 1 (19オ) 貴フ。夏ニハ三月ヲ用ルニ、黒色ヲ用ハ、草木カ地上
ヘアガルソ。遠
- 2 カラミレハ、青々トヲヘ出タハ、黒色デミヘルソ。建子・建丑^{チウ}・
建寅之三ノ
- 3 月ナラテハ、正月ニハナラヌソ。二月三月カラシテ□□タリナソ。
故トラヌ
- 4 ソ。十一月ノ正月ニハ、子之時ニヲクルソ。子ノ月ヲタツ^(一字空き)
- 5 フ故ソ。十二月ノ
- 5 正月ニハ丑之剋ニヲキヨ。十三月ニハ寅剋ニヲキヨ。各テ時ヲ貴
フ故ソ。
- 6 ハヤクヲクルハ非礼ソ。一月ト云ヘカシ。正月ト云ハ不審ナ。正
トハ、今日ヨリ
- 7 始テ正ク政ヲスルト云心ニ、正月トハ云ソ。朔字モ心得ヌ。只一
日ト云ヘカ
- 8 シ。朔ハ蘇也、革也。初生之月ハ次第二増メ、明德ヲソウルソ。
十五夜マ
- 9 テカ、若貌ソ。十六日ヨリ次第二減ソ。老相也。前月已過今月又
蘇ス
- 10 ト云心ソ。革トハ、前月已過今月又革ト云心ソ。○注文ハ算也。

参考文献

- 11 質ハ
素朴也。礼樂カ変シタソ。是ヲ昼夜ニタトウ。日カ長ケレハトテ、
日カ
- 12 ツ、ケテ二日アル事ハナイソ。夜モ亦如此。イカニ世カ変スルト
モ、サノ^ニ太^ニ三^ハ
- 13 チカウマイソ。所因トハ三綱五常ニヨルソ。ナニカ損シ、ナニカ
益スルソト云ヘ
- 14 ハ、文質ソ。三統トハ建子・建丑・建寅ソ。物類トハ三綱五常ハ、
イツモ類
- 1 (19ウ) ヲモツテ変スマイソ。勢数トハ、^木・火・土・金・水ハ
其変有^レ常ソ。
- 2 子曰―人カ吾先祖テナイモノヲ祭タリスルハ、小タノシウナラウ
トテ、
- 3 マツルソ。鬼トハ鬼ハ帰也。魄ハ帰ルソ。ナマツソ。福力ヲ求メ
テ祭ラハ、諂ヘ
- 4 ル也。見義―一牛一馬之礼ソ。義宜ナリ。人ノ礼ヲ得テカヘサ
ヌハ、ヌス人ソ。注祖ハヲウチ、孝ハ父也。
- 5
- 6 論語卷第一
(19ウ終)

柳田征司（一九九二）「希項周顥講『論語講義筆記』と断定の助動詞「ダ」」『小林
芳規博士退官記念 国語学論集』汲古書院

（一九九八）『室町時代語資料としての抄物の研究』武蔵野書院

（二〇一三）『日本語の歴史4 抄物、広大な沃野』武蔵野書院

松尾弘徳（二〇〇四）「尊経閣文庫蔵『論語講義筆記』の文体…逆接の接続詞サレ
ドモとアレドモを中心に」『文献探究』四十二

付記

資料の閲覧ならびに翻刻掲載の許可を下さった前田育徳会尊経閣文庫に記して感
謝申し上げる。

（ふるた たつひろ・本学大学院博士後期課程）